

# 茨大・みと再発見—地域国際ふれあいナビ from 茨大 プロジェクト（秋・冬編）

地域交流

[ 代表者 ] 人文学部コミュニケーション学科 2 年

国際交流

菊池 麻衣子・横田 美濃

## [ 連携先 ]

水戸市民の方々

## [ 参加者 ]

菊池 麻衣子（人文学部・2 年）

横田 美濃（人文学部・2 年）

殿村 薫（人文学部・2 年）

竹藤 玲奈（人文学部・2 年）

佐藤 智慧子（人文学部・2 年）

張 美（人文学部・2 年）

Ngo Hang Van（人文科学研究科・M1）

Luu Nga Quynh（人文学部・日本語日本文化  
研修留学生）

矢内 結香（学務部学務課教養教育係・係長）

杉本 妙子（人文学部・教授）

## [ プロジェクトの成果 ]

当初計画していた通り、私たちのプロジェクトでは茨大日本人学生と留学生で、秋、冬に行われる年中行事を通し、地域の方々との交流をはかりました。具体的には、水戸八幡宮で行われた七五三・菊花展、大学の茨苑祭、水戸の成人式、笠原神社の節分祭と、各個人で見つけた大学周辺のおすすめスポットについて取り上げ、それぞれをレポートしました。その際、行事の前後に、お話を伺ったり、レポートまとめや意見交換をするために複数回のミーティングを重ねました。現在は、これらをまとめた多言語情報誌を作成中です。

地域連携では、稲野辺さんをお迎えして水戸の歴史や、地域、伝統行事にまつわるお話をうかがい、それによって意外な発見をしたり、新たな知識を得ることができました。更に人文学部の杉本妙子先生のサポートをいただき、地域

の行事に参加することにより、住民の方々との交流もはかることができました。また、私たち独自で、大学周辺のおすすめの場所を見つけることで、狭い範囲ではありますが、地域を知ることに繋がったと思います。

今回のプロジェクトでは、初回ということもあり、不慣れから、計画の日程通りにはなかなか進められませんでした。しかし、日本人学生と留学生が協力し合える良い機会となっただけではなく、留学生や地域の方々との交流をはかることにより、水戸の地域に根付いたものの良さを知り、また、異なった視点を通して見たものから、新たな発見をすることにも繋がりました。留学生達自身も、実際に地域に参加してこれらを知り、日本や水戸の新たな良さを発見した機会になったと思います。

現在作成中の多言語情報誌は、参加した行事の説明と、実際に参加してみたの感想、各々のおすすめスポットの紹介をまとめ、留学生の協力を得て、それらを英語、中国語、韓国語、ベトナム語に翻訳しました。情報誌が完成した時点で、水戸市内や県内、海外の大学に配布する予定です。これらの情報を発信することにより、水戸の良さを知ってもらえると同時に、地域の方々だけでなく、海外の方々の関心をも得られ、そこから国際交流へと発展していくことも期待できます。地域に根付いた行事に参加し、その伝統や良さ、新たな発見を体感し、それらを多くの方々に情報として提供する一連の流れから、広範囲の交流がはかれる、継続性のある見込めるプロジェクトとなりました。